

[作る] 家・ログハウス

リアルデッキユニットかんたん後付フェンス

masu

はじめに



庭におくだけで手軽にデッキになる人工木〔リアルデッキユニット〕に、待望の後付フェンス部材が追加されました。後付施工はいろいろな面倒な加工が必要と思いきや、とっても簡単に完成しました。

所要時間 3時間

かかった費用 およそ105,000円

必要なもの・準備

材料で必要なもの

	材料名	サイズ	数量
	<u>メッキパイプ 1.6mm厚×外径Φ31.8mm</u>		4
	<u>リアルデッキ ユニット用フェンスポスト キャップ付</u>		4
	<u>リアルデッキ ユニット用フェンス3枚セット 幅796mm</u>		1
	<u>リアルデッキ ユニット用フェンス3枚セット 長さ682mm</u>		2
	<u>リアルデッキ ユニット 【組立完成品】</u>		4
	<u>リアルデッキ ユニット用デッキ材R〔右フェンスポスト用〕</u>		2

	リアルデッキ ユニット用デッキ材W〔両端フェンスポスト用〕	1
--	-------------------------------	---

道具で必要なもの

	道具名	サイズ	数量
	六角軸 鉄工用ドリル (刃先径)2.8mm GTTD-28		1
	BOSCH〔ボッシュ〕バッテリーインパクトドライバ 10.8V GDR10.8-LI (静音タイプ)		

リアルデッキユニットかんたん後付フェンス

ステップ1 床板の交換



フェンスポスト（支柱）を取り付ける位置の床板の交換をします。ユニットのとりつける束柱の位置によりL左ポスト用・R右ポスト用・W両端用をえらびます。

ステップ2 芯材の取り付け



メッキパイプ 1.6mm厚×外径Φ31.8mm×1mを床板の穴に入れます。デッキレグ（束柱）にも外径Φ31.8mmの穴が空いているのでかんたんに差し込むだけです。

ステップ3 フェンスポストの取り付け



芯材のメッキパイプにフェンスポストを取り付けます。この手順もフェンスポストに外径Φ31.8mmの穴が空いているので、差し込むだけの作業です。

ステップ4 ボーダーフェンスの取り付け



フェンスポストにボーダー（横棧フェンス）を取り付けます。ボーダー材の両端には取り付け用のアングル金具が付いています。このアングルをポストフェンスのガイド溝に差し込み、3段ある高さのバランスを調整してビス固定します。デッキユニットを2連結、同じくフェンスも2連結以上する場合、中柱の位置が柱の幅分ずれるため、フェンスの長さが2種類用意されています。材料準備段階で確認しましょう。

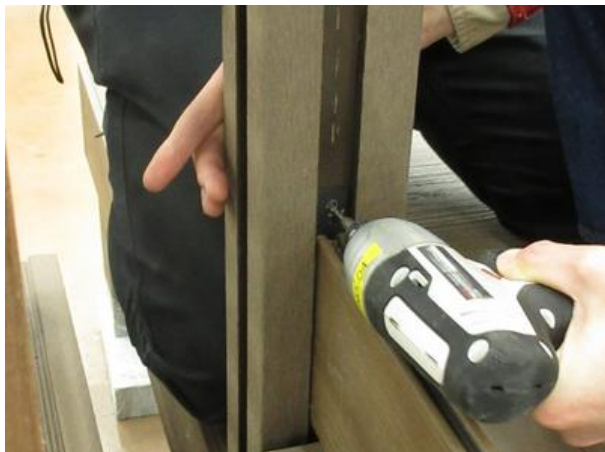
出来栄えの勘どころは、ボーダー棧の取り付け位置。均等な高さになる様にスペーサー（隙間定規）を用意しておくとなんとなく作業できます。

ステップ5 ポストキャップ取り付け



最後もカンタン。ポストキャップを差し込んで完成です。

ステップ6 補強対策



ステップ4のフェンスボーダーを取り付ける際、ポストの芯材として入っているパイプまで下穴をあけて、ビスを芯材まで届かせることで、補強対策になります。また、別途鉄板用ビス（テクスビス）を使用すると、下穴をあけなくても止め付け施工ができます。さらに、基本のデッキユニットどうしもビスやボルトで連結固定することで、フェンスの口空きや開きを防ぐ強度が増します。